

## 外洋特別規定の遵守に関して

逗子レガッタ 2022 には、**外洋特別規定 (Offshore Special Regulations)** の**モノハル・カテゴリー 4** が適用されています。参加艇は、この**規定の遵守が参加資格**とされています。

なお、規定の一部はレース公示で変更されています。

### 1. 規定本文に従って実艇を確認すること

**申告書は記入することが目的ではありません。**規定で要求されている必要な備品や設備が適切に装備されているかを、**実艇を確認して記入する必要がある**があります。

申告書は規定本文の省略であり、かつ全項目が網羅されていません。規定の内容理解および確認においては**規定本文を用いての確認**が必要です。

### 2. インスペクション

申告書は参加艇が規定を遵守しているかどうかを確認する一手段です。また、**レース主催者は参加艇が規定に従っているか随時検査する権利**があります (OSR 2.03)。備品においては単に搭載しているだけで無く、その設置位置が指定されているもの (ライフブイ・ヒービングライン・ジャックスティなど) もありますので、レース中は正しい位置に設置ください。

**外洋特別規定 (Offshore Special Regulations)** は、ヨットレースの**国際規定**です。レースに参加するにあたっての**備品・設備・トレーニングの「最低基準」**です (OSR 1.01.1)。あくまでも「最低基準」であり、艇や乗員の安全を保証するものではありません (OSR 1.01.2)。

本レースに参加するにあたり、規定で定められた備品や設備以外に自艇に必要と考えるものがあれば自己の責任にて準備する必要があります。

外洋特別規定 カテゴリー 4 規定本文 ↓

[http://www.jsaf-anzen.jp/pdf/OSR2022\\_v8\\_Mo4\\_J\\_0224.pdf](http://www.jsaf-anzen.jp/pdf/OSR2022_v8_Mo4_J_0224.pdf)



申告書はモノハル・カテゴリー 4 【逗子レガッタ 2022】 を用いてください

## OSR モノハル・カテゴリー 4 主な注意点

外洋特別規定 (Offshore Special Regulations) モノハル・カテゴリー 4 において特に注意すべき点を以下に記します。あくまでも規定の一部であり、かつ以下の説明は要約ですので、詳細の確認は規定本文で行ってください。

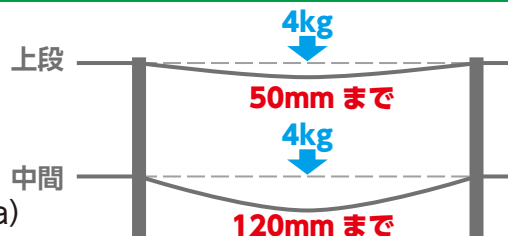
### A ライフライン

ライフラインのたわみ OSR 3.14.1 i)

4kg の荷重をかけた時に、

上段は 50mm、中間は 120mm まで

素材はステンレスワイヤーか HMPE OSR 3.14.6 a)



### B 通信設備 OSR 3.29.5 ハンディ VHF 防水仕様

他に、レース公示で防水仕様携帯電話の搭載を要求している (レース公示 8)。

### C 消火器 OSR 4.05

**1** 消防カバー：1 個 OSR 4.05.1

炊事設備近辺に設置

**2** 消火器：2 個 OSR 4.05.2

異なる位置に設置

### D アンカー OSR 4.06.2 無改造のアンカー：1 個

### E ライフブイ・ヒービングライン・リカバリースリング OSR 4.22

以下 2 点の落水救助対応備品が必要。

**1** ライフブイ OSR 4.22.3

自己点火灯・笛・ドロークの 3 点付  
ヘルムスマンの手の届く位置に設置。



落水者に投げて、落水者が浮き輪として、  
または落水地点特定に使用。  
艇には結びつけない！

**2** ヒービングライン OSR 4.22.7

直径 6mm 以上。長さ 15-25m。  
コクピットですぐに使える位置に設置。



落水者を艇に引き寄せる、または艇上に  
戻す時に使用。  
一端を艇には結びつけておく！

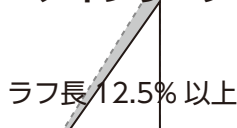
### F 荒天用セール OSR 4.26.1

次のいずれかが必要

メインリーフ

または

ヘビーウェザージブ



### G ライフジャケット OSR 5.01.4 年に 1 回は、点検が必要

### H 定期トレーニング OSR 6.04 年に 1 回は、次の訓練が必要 a) 落水救助 b) 艇体放棄

**変更** 以下 2 点項目はレース公示にて変更され、不要とされている。

レース公示 1-3-1 OSR 3.19 寝台

レース公示 1-3-2 OSR 4.23 信号焰と光信号

船検上の信号焰類は必要